

株式市場概況

先週の動き（8月24日～8月28日）

世界の株式市場の混乱は継続し、日経平均株価は火曜日には1万8,000円を割り込んだ。しかしその日の19時過ぎに、中国人民銀行（中央銀行）が貸出基準金利と預金基準金利を0.25%引き下げ、銀行の預金準備率も0.5%引き下げを発表した。

同日夜の米国市場は小幅に下落したものの、翌日からは世界中で株価が戻す展開となった。日経平均株価は金曜日に1万9,000円台まで戻した。日経平均は前週末比-1.54%の1万9,136円で一週間の取引を終えた。

このところ下落が継続していた原油価格も反発し、前週末比で7%ほど上昇した。

経済指標では、日本の全世帯家計調査（7月・支出・前年同月比）は-0.2%（予想0.5%・前回-2.0%）と、家計の支出の伸び悩みを示唆した。米国の耐久財受注（7月・前月比）は+2.0%（予想-0.4%・前回3.4%→4.1%）と今年最も良い数値となり、米国景気の好調さを印象付けた。

日経平均株価(2015年5月19日～)



セクター別では原油価格の反発から、鉱業や石油・石炭などが上昇した。下落率が大きかったのは、海運や紙パナなど前週までの下落が小幅なものだった。全体の下落幅が大きくなったことで、値崩れの小さいものを売る動きがあったことが窺える。

スタイルインデックスは前週に引き続き、全て下落となった。こちらでも前週下落率が最も小さかったREITが値下がりトップとなった。

表1. セクター、スタイル・インデックス動向

セクター動向(先週末比)			各種国内株式指数動向(先週末比)				
鉱業	4.38%	海運	-6.75%	TOPIXL70	-1.45%	日経平均株価	-2.19%
保険	1.67%	不動産業	-5.18%	TOPIXバリュー	-1.68%	TOPIXグロース	-2.30%
石油石炭	0.67%	パルプ紙	-5.18%	東証2部	-1.69%	TOPIXスモール	-2.30%
電気機器	0.42%	陸運	-4.59%	TOPIX	-1.99%	マザーズ	-4.64%
卸売業	-0.19%	医薬品	-4.16%	ミッド400	-2.15%	REIT指数	-4.79%
その他製品	-0.44%	倉庫運輸	-3.70%	コア30	-2.17%		

今後の注目点

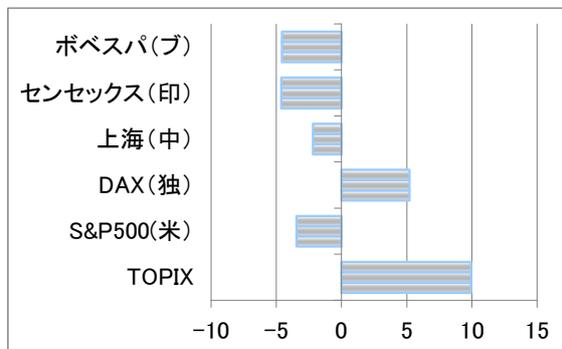
中国の通貨切り下げに端を発した世界的な株安の影響から、日経平均株価は8月11日の高値2万940円から8月26日の安値1万7,714円まで一気に3,226円（15.4%）下落した。その後3日間で1万9,000円まで戻すなど、依然激しい動きは継続しているが、徐々に市場は落ち着きを取り戻す展開となると見られる。

売りの主体は海外投資家で、8月3週は現物と先物を併せて1兆2,500億円を売り越した。一方で、個人投資家は買い越しに動いており、信用買い残高（売り買い差引）は直近最も買い残があった2014年1月31日の水準を上回った。この買い残高が今後の上値の重石となり、これまで支持帯だった日経平均2万円の水準が抵抗帯となる。

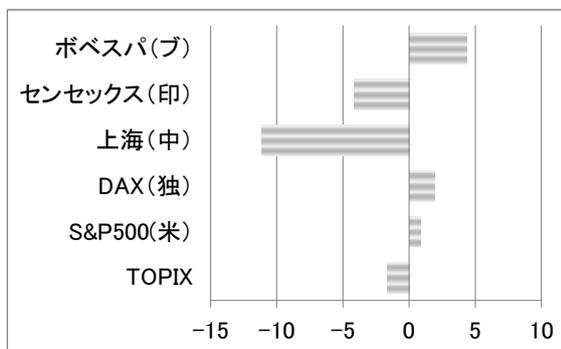
直近、日経平均が200日移動平均線を割り込んだのは昨年10月だった。この時は、月末に日銀が予想外の追加金融緩和を敢行し、200日移動平均線を上放れた。しかし、今回はその追加緩和から一年も経っていないため、「戦力の逐次投入は行なわない」と明言している日銀の黒田総裁が動くとは考え難い。補正予算で企業の設備投資の増加を一段と促進するような対策が望まれる。

資料 各国株価動向

年初来上昇率(% 値は28日引け時点)



前週末比(% 値は28日引け時点)



株式市場需給動向（8月3週：8月17日～8月21日）

8月3週の投資部門別売買動向では、海外投資家が大きく売り越し、個人、投資信託、自己、事業法人などが買いとなった。裁定買い残高は減少。信用買い残高（売り買い差し引き）は2兆9,446億円と、直近で最も残高が多かった2014年1月31日を42億円上回る水準まで増加した。

投資主体別売買動向(2015年8月3週)

	現物(億円)	先物(億円)	差引(億円)
自己	-1449.36	3422.23	1972.87
委託	1416.34	-3508.79	-2092.45
自己・委託合計	-33.02	-86.56	-119.59
法人	1918.86	2892.35	4811.21
個人	3270.23	1941.20	5211.43
海外投資家	-4004.70	-8573.18	-12577.88
証券会社	231.95	230.84	462.79
投資信託	-6.19	2463.12	2456.94
事業法人	1671.10	129.62	1800.72
その他法人	117.34	67.81	185.15
金融	136.61	231.79	368.40
生保・損保	53.31	-138.59	-85.28
都銀・地銀	76.07	-299.47	-223.40
信託銀行	-89.47	660.40	570.92
その他金融機関	96.71	9.45	106.16

(価格データはブルームバーグによる)

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第14号 加入協会/日本証券業協会